

第3次気仙沼市食育推進計画の食育関連事業の主な取り組み状況 (令和3年度実績抜粋版)

<本市の将来像>

人と自然が輝く 食彩豊かなまち

※本計画の将来像は、気仙沼市総合計画に掲げる将来像とする。



<基本目標>

健全な食生活の実践を通して、心身の健康増進を目指します

食を楽しむ心と食への感謝の心をはぐくみ、豊かな人間形成を目指します

食を通して、人と自然が輝く活力あるまちを目指します




<食育に関する5つの視点>

視点1 食を通じた健康づくりの推進	視点2 五感を使ってすこやかな心身をはぐくむ食育の推進	視点3 気仙沼市の風土にはぐくまれた食材・食文化の理解	視点4 食の安全・安心の推進	視点5 市民運動による食育の推進
----------------------	--------------------------------	--------------------------------	-------------------	---------------------

●市の主な取組み (No. は、参考資料1令和3年度食育関連事業実績の視点毎の通番)

視点	No.	事業名	事業概要	令和3年度実績 (回数・参加人数等)	令和4年度 の取組み	担当課
50 事業のうち 40 事業実施						
視点1	13	健康づくり教室 (男性対象の健康教室)	健診受診者のうち、BMI25以上の男性を対象に、運動教室を実施した中で、栄養講話も実施した。 	6回 延べ 34人	継続実施	健康増進課
	21	歯についての勉強会	歯科健診に合わせて、嘱託医より子どもの虫歯予防の講話を通して乳幼児の虫歯予防、歯磨きの仕方、「あ・い・う・べ体操」や食生活の大切さを伝えた。	8回 251人	継続実施	子ども家庭課 実施主体：保育所、 児童館、幼稚園
	38	児童生徒が実践する 取組	給食委員会や保健委員会等の児童生徒が、掲示物の作成、集会の場での呼びかけやクイズ、寸劇やかるた大会等による食に関する啓発を行った。また、よく噛む食材を使った料理を考えるかみかみメニューコンテストやよい歯の標語コンクールへの応募を行った。 	128回 延べ3,601人	継続実施	学校教育課 実施主体：小・中学校
41 事業のうち 37 事業実施						
視点2	1	プチシェフコンテスト in 気仙沼	子供たちが地域の豊富な食材を用いた料理に取り組むことを通じて、地域資源の素晴らしさや食文化を再発見するとともに、家族間のコミュニケーションや世代間交流を進めることを目的に実施した。 	応募数：315人 作品数：317作品 本選出場：14人 本選：11月3日(水・祝)実施	継続実施	震災復興・企画課 実施主体：プチシェフコンテスト実行委員会
	11	いろいろ野菜の持ち帰り	園児が育てた野菜を家庭に持ち帰って食卓に反映されることによって、一緒に食べる喜びを味わわせるとともに、自信をもたせながら偏食の改善につなげることを目的に実施した。	23回 139人	継続実施	子ども家庭課 実施主体：保育所、 幼稚園
	17	八瀬森の学校	八瀬産そばを使用したそば打ち体験「八瀬・学校そば」や、山菜料理講習会、地元農産物の直売等を開催した。	5回 52人	継続実施	農林課

視点	No.	事業名	事業概要	令和3年度実績 (回数・参加人数等)	令和4年度 の取組み	担当課
39 事業のうち 33 事業実施						
視点3	15	気仙沼の魚でスタジアムグルメをつくらう	(株)楽天野球団の協力のもと、気仙沼で水揚げされる魚介類を使ったレシピコンテストを実施し、グランプリ作品は「スタジアムグルメ」として楽天生命パーク宮城において期間限定販売を行った。	応募者数：47人 応募作品数：53点	—	水産課
	24	給食による食育	日頃から、給食における郷土料理の提供や宮城県・気仙沼の地場産物の使用を通して、地元の食文化への理解を深めた。また、毎月の「みやぎ水産の日」にはその月のテーマ食材となっている宮城県の魚介類を使用したほか、11月の「みやぎのふるさと食材月間」では普段以上に地場産物を多く活用するなど、行事も活用して地産地消の普及啓発を図った。	190回 3,601人	継続実施	学校教育課 実施主体：小・中学校、調理場
	33	転入奥様のためのけせんぬま講座	転勤などで気仙沼市に転入された女性を対象に、本市を知っていただくことや仲間づくりを支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼市の小中学生の給食 ・鰹のおろし方 ・そば打ち体験 ・気仙沼の旬の食材を使った料理 ・気仙沼産などの食材を使ったふりかけづくり 	5回 89人	継続実施	生涯学習課 実施主体：気仙沼中央公民館
19 事業のうち 17 事業実施						
視点4	1	食品に係る放射性物質の濃度調査	自家消費用に栽培などを行っている食品の放射能物質濃度を測定した。	7人 9件	継続実施	生活環境課
	5	手洗い指導	エプロンシアターや紙芝居等で感染症予防と手洗いの大切さを学び、実践練習を通して身に付ける。 手洗いチェッカーを使って、手の正しい洗い方を学ぶことを目的に実施した。 	通年 166人	継続実施	子ども家庭課 実施主体：保育所、児童館
	14	食物アレルギーへの対応	卵及び乳製品の除去・代替食の提供や、詳細献立表の確認等により、食物アレルギーに対応した。また、食物アレルギーを有する児童生徒の保護者との面談や食物アレルギー対応の職員研修を行い、給食の安全の確保に努めた。	635回(延べ) 248人(実数)	継続実施	学校教育課 実施主体：小・中学校、調理場

視点	No.	事業名	事業概要	令和3年度実績 (回数・参加人数等)	令和4年度 の取組み	担当課
7事業のうち7事業実施						
視点5	3	食育の推進ボランティアによる食生活改善活動普及数	<p>気仙沼市食生活改善推進員が、食育の推進及び食生活の改善の普及・啓発を図ることを目的に、魚食普及講習会や郷土料理講習会、おやこ食育教室等、各地区において食生活改善普及活動を実施した。</p> 	延べ 3,779人	継続実施	健康増進課 (気仙沼市食生活改善推進員協議会)
	4	健康づくりフェスタ	「けせんぬま健康プラン21」及び「食育推進計画」に基づき、市民の健康保持・増進を図ることを目的に、R3.11.1～R3.11.26まですこやかとワン・テン庁舎にパネル展示やパンフレット等を設置した。	すこやか会場 (6月5日～6月17日) ワンテン庁舎会場 (6月20日～7月1日)	継続実施	健康増進課
	5	食育関連のお知らせ発信	「ルルブル」や「みやぎの食育通信」のパンフレットを配布し、家庭での関心と実践をはかる。施設でも、ルルブル体操を取り入れた。	9回 302人	継続実施	子ども家庭課 実施主体：保育所、児童館、幼稚園

第4次気仙沼市食育推進計画の食育関連事業の主な取組み状況 (令和4年度計画抜粋版)

<本市の将来像>

世界とつながる 豊かなローカル

※本計画の将来像は、気仙沼市総合計画に掲げる将来像とする。



<コンセプト>

“あたりまえ”にある自然の恵みを再認識し、次世代へつなぐ

<基本目標>

健全な食生活の実践を通して、心身の健康増進を目指します

食を楽しむ心と食への感謝の心をはぐくみ、豊かな人間形成を目指します

食を通して、人と自然が輝く活力あるまちを目指します

<食育に関する4つの視点>

視点1	視点2	視点3	視点4
食を通じた健康づくりの推進	気仙沼市の風土にはぐくまれた食材・食文化の理解と継承	食の安全・安心の推進と非常時への備え	市民運動による食育の推進

●令和4年度新規事業 (No. は, 参考資料2 令和4年度食育関連事業計画の視点毎の通番)

視点	No.	事業名	事業概要	担当課
1	3	パパママ Cooking 教室	妊娠期から自分自身や家族の食事を見直し、これからの子育てにおける望ましい生活習慣の基盤づくりを行う。	健康増進課
1	41	給食を知ろう (就学時)	就学前の親子で給食を調理し、給食にかかわる人の工夫や地元食材の活用の仕方を知る。(SDGs3, 4)	生涯学習課 実施主体: 鹿折公民館
2	34	学校給食地産地消に係る意見交換会	給食で地場産物の活用を増やすための方法について、関係機関との意見交換会を行う。	学校教育課 実施主体: 調理場
2	47	あつまれスキップの森	地元の食材を使用し、本格的な季節の行事食を学ぶ	生涯学習課 実施主体: 本吉公民館
3	10	防災食試食体験	アルファ米等試食して味を知り、実際の災害時にも対応できるようにする。	子ども家庭課 実施主体: 保育所
他6事業が新規事業				